

words

Dec.2019 - Jan.2020

こ ん な 本



読 ん で み て

take free No.80

目次

words	1
MIETAN 本つなぎ 第8回	6
Book design の世界 vol.10	10
ちょこちょこ日記 #20	12

words

選び抜かれた言葉から伝わってくる
言葉の魅力、味わってみませんか？

『目でみることば』

おかべたかし 文

山出高士 写真

東京書籍 2013年

812||Y 19



意味は知っているけど、目で見ただこと
のなかった言葉がたくさん。この本で
は言葉の由来となったものを写真に収
め紹介されています。言葉の姿がはっ
きり見えてくる楽しい一冊です。

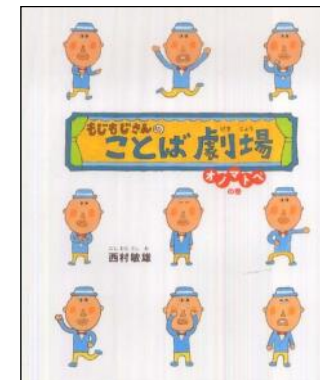
『もじもじさんのことば劇場 オノマトペの巻』

西村敏雄 著

偕成社 2010年

814||N 84

物の様子や音を表した言葉・オノマト
ペの持つおもしろさを、もじもじさん
がほのぼのと伝えてくれます。今の気
分を表現するのはどんなオノマトペ？



『うたうとは 小さいのち
ひろいあげ』

村上しいこ 著

講談社 2015年

913.6||Mu 43



高校1年生の桃子はふとしたきっかけで短歌を詠む「うた部」に入部します。最後まで読んだ時、タイトルの言葉が心に響いてきます。

『歌集 滑走路』

萩原慎一郎 著

角川文化振興財団 2017年

911.168||H 13



若き歌人がのこした295首の短歌。苦しみの中に希望を見出す言葉の数々が収められています。悩み事がある時、うまくいかないと思った時、読みたくなる一冊です。

『ほんとうのじぶん』

石津ちひろ 詩

加藤久仁生 絵

理論社 2014年

911.56||I 84



あたりまえのように思えることも、大切なものを大切だと気付くことのすばらしさを伝える一冊です。軽やかな言葉のリズムに、心も軽くなる詩集です。

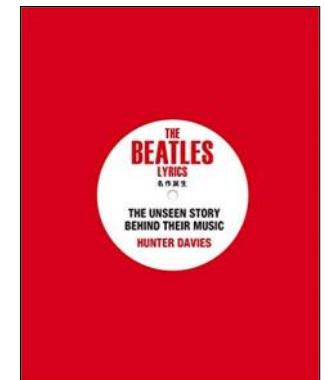
『The Beatles lyrics』

ハンター・デイヴィス 著

奥田祐士 訳

TAC株式会社出版事業部 2017年

764.7||D 46



ビートルズの182曲の歌詞をまとめた一冊。多くの直筆のメモも掲載されていて、歌詞の変更などが分かり、ここから名曲が生まれたのだと感動でふるえます。

『ずっと喪』

洛田二十日 著

キノブックス 2018年

913.6||R 12



21の短いお話=ショートショート集です。思いもよらないアイデア、次々と起こるサプライズ。独特の世界観に振り回される感覚を楽しんでみてください。

『毎日読みたい』

365日の広告コピー』

Writes Publishing 編

ライツ社 2017年

674||R 12



365日、一日一つ紹介される広告コピー。短い言葉だからこそ、たくさんの気づきがありました。ページをめくることがプレゼントのように思える一冊です。

『僕と妻の1778話』

メモリアルセレクション52』

眉村卓 著

集英社 2010年

913.6||Ma 98



毎日一話ずつ妻に捧げた1778話の物語。その中から選りすぐりの52話が収録されています。夫から妻へ宛てた言葉を読んだ時、あなたにはどんな言葉が浮かぶでしょうか。

『I love youの訳し方』

望月竜馬 著

ジュリエット・スミス 絵

雷鳥社 2016年

902.09||Mo 12



100人の作家の100通りの愛の表現。ロマンティックな言葉に浸れる一冊です。あなたなら“I love you”をどう訳しますか？

words 



第8回

MIETAN 本つなぎ



三重短生の
おすすめ本をリレーして
三重短を本でつなげたい！

さきこさん
経商コース
1年

あさこさん
経商コース
1年

ー今日はよろしくお願いします。お二人は短大に入ってからのお友達ですか？

さきこ・あさこ よろしくお願ひします。高校も同じだったんです。

ーそうなんですかね。高校も短大も友達と一緒にいいですね。早速ですが、さきこさんの好きな本の紹介をお願いします。

さきこ 『とんび』(重松清著/角川書店)っていう本を紹介しします。主人公のヤスさんと妻の美佐子さんは幼い頃に両親を亡くして、親っていう存在を知らずに育て、その夫婦の間にアキラくんが生まれて、親子三人で仲良く幸せに暮らしてました。ヤスさんは運送の仕事をしていて、アキラくんがお父さんの仕事してる姿を見たいと言って美佐子さんと一緒に見に行った時に、アキラくん荷物落ちてくるのを美佐子さんが助けて亡くなってしまっ。まだ幼い子どもを育てる不器用なヤスさんのストーリーです。

ーいつ頃、出会った本ですか？

さきこ 中学生くらいでしょうか。ドラマ化もされました。一話目からめっちゃ泣いちゃいました。ドラマを見てから原作が気になって読んで、今またドラマの方を見返しちゃってます。ヤスさんが本当に不器用なんですよ。薬師院の和尚さんに助けてもらいながら、子どもを育てていきます。幼いアキラくんは死を知らないから、お母さんどこ行ったのって聞いたり、お母さんを探すって言ったり。そんなアキラくんに対して和尚さんが、【お母さんは違う家に行ったからもう会えへん。アキラが見つけやなあかん。】と言って、その答えが【アキラくんのここにある。】って感じの話をして、そこにもうるときました。

ーうるっとくるポイントがたくさんありそうですね。

さきこ はい。たくさんあります。結構泣けます。



ー好きな登場人物はいますか？

さきこ 和尚さんです。和尚さんの一言一言にすごく重みがあるんです。アキラ君が、お母さんがいないことを保育園で言われて泣いちゃった時に、ヤスさんにアキラくんを抱かせて、和尚さんが【お父さんと接してる部分は温かいけど背中中は寒いやろ。他の子はお母さんが温めてくれる。アキラが寒い時、周りのみんなで背中を温めてやる。アキラの背中を温めてくれる人はたくさんいる。】と言って、泣けました。そんなぐっとくる場面がたくさん作品です。

ー続いて、あさこさんの好きな本を紹介してください。

あさこ 『図書館戦争』(有川浩著/角川書店)です。舞台はどこにでもある図書館というリアルな部分と、本をめぐる戦う非現実的な部分と一緒に書かれているのがおもしろくて好きところです。読んだのは結構前ですが、どの本が好きですかと言われてパッと出てくるのはやっぱりこの本ですね。

ー好きな登場人物は誰ですか？

あさこ 郁ちゃんのまっすぐさも好きなんですけど、堂上教官の熱いところがかっこいいです。

ー映画化された作品は見ましたか？

あさこ 映画は見なくて、本だけなんです。めずらしいタイプかもしれません。この本は中学生の時に会って読みました。本のはじめに書いてある「図書館の自由に関する宣言」が、実際に図書館に貼ってあるのを見て、おお！と思いました。



さきこ これを見ていたら、表現や本って大切なんやなと思いますよね。今もこういう表現をしたからこういう犯罪が起きたと言われることがあって、現実になるんちゃうかなって思った時もあります。

あさこ 続編の『図書館内乱』では、耳が不自由な毬江ちゃんに小牧教官が、難聴のヒロインが登場する小説『レインツリーの国』を薦めたことが無神経みたいな感じで言われる場面もあって。そういうのも、他の人が言って騒ぎが大きくなって、自分が思う正義を振りかざすみたい。言葉って難しい。

さきこ 考えさせられるな。

あさこ それって当事者からしたら余計なお世話やと思うかも知れないしね。

さきこ 確かに当事者は何とも思っなくても周りが気にするってあるかも。

あさこ この本が書かれたのはSNSが主流になる前だと思うんですけど、最近も何かあるとすぐ炎上して、問題になる。今はSNSなどで、簡単に言葉を発信できちゃう。言葉の取り方は人によって様々だから、今の時代にもぴったりの本なんじゃないかと思います。

● 3つの質問 ●

ー 3つの質問です。①今はまっているもの、教えてください。

さきこ チキンにはまっています。私はコンビニのチキンが好きで、よく食べています。バイトの帰りにコンビニに寄ることが多いですね。

ー おすすめはありますか？

さきこ 黒こしょう味が特においしかったです。

ー あさこさんは何にはまっていますか？

あさこ 私はスポーツ観戦です。色々見ますが、特にバレーボールを見るのが好きです。

ー 先日、ワールドカップバレーありましたよね。好きな選手はいますか？

あさこ 浅野博亮選手が好きです。愛知のチームに所属している選手です。バレーにはまった友達がいる、行こうって話しているので、来年くらいに試合を見に行けるかもしれません。

ー 行けるといいですね！楽しみですね。

あさこ 去年、女子バレーのデンソーの選手のバスを見れたんですよ！ちょうど三重短の受験の帰りに見たんです。

さきこ 見たね！見た見た。

あさこ すごい奇跡！と思って。ついてましたね。

ー 続いてゆか子さんからの質問です。②行きたい場所はどこですか？

さきこ 沖縄に行きたいです。高校の修学旅行で、首里城や国際通りに行くと、楽しかったです。

あさこ 楽しかったよね。

ー 今、行くとしたら行きたいところはありますか？

さきこ 沖縄の島に南十字星を見に行きたいです。日本で南十字星が見れるのは、沖縄の島だけと聞いたことがあるので見てみたいと思っています。

あさこ すごい！星好きなの？

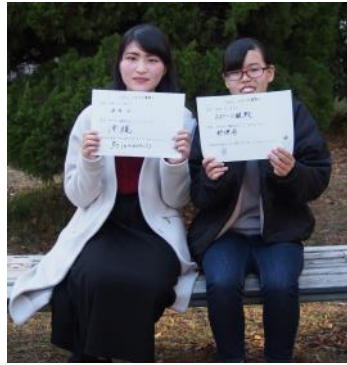
さきこ 小学校・中学校の時にめちゃくちゃ星が好きな時期があって。その時に聞いて見てみたいと思いました。

あさこ こんなすてきな答えのあとにどうしよう。私は郵便局です。(笑)

ー 何しに行きますか？

あさこ 書類を出しに行こうと思って。書類の提出期限が近いので、忘れないように書きました。(笑)

ー それは行かないといけない場所ですね。(笑)



ー ③生まれ変わったら何になりたいですか？みたらしさんからの質問です。

さきこ 鳥になりたいです。家でセキセイインコを三羽飼っていて、遊んでいる様子を見るといいなあと思って。

ー 動画とかありますか？(動画を見せてもらいました)

さきこ 口で紙をくわえて、奪い合いをして、ラグビーみたいに遊んでおもしろいんですよ。

ー 楽しそう！かわいいですね。すごくきれいな色ですね。名前は何ですか？

さきこ 青の一羽がチョコ、緑の一羽がもみじ、緑のもう一羽がビオラです。しゃべってる動画もあるんです。

あさこ 何かしゃべってる。声低いね。ビオラって言った？

さきこ お父さんのマネしてるみたいで。「もみじビオラこっちおいで」って。

あさこ すごい！ずっと鳴いてるの？

さきこ 朝起きた時とか、出してほしい時に鳴いてる。足音が聞こえると呼んでくるんです。

ー かわいい動画ありがとうございます。続いて、あさこさん。

あさこ 貝です。「生まれ変わるなら私は貝になりたい」っていうのが思い浮かんだので、貝にしました。

さきこ 確かに貝になったら海の中でゆっくり暮らせてよさそうだね。

ー 今日は楽しいお話をありがとうございました。

さきこ・あさこ ありがとうございました。

● さきこさん ●

『とんび』(重松清著/角川書店)

● あさこさん ●

『図書館戦争』(有川浩著/角川書店)



次の2人へ
本つなぎ。
次回もお楽しみに♪

Book design

の世界

vol.10

和田 誠さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする仕事を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第10回目は、和田 誠さんです。

和田誠さんは、グラフィックデザイナー・イラストレーターとしての仕事のほか様々な分野で活躍されました。1974年講談社出版文化賞(ブックデザイン部門)ほか受賞多数。著書は200冊以上出版されました。和田さんは「文字はもちろん、本の厚みや手ざわりとの関連を頭に置いて絵を描く。帯で絵が隠れないようにするのが普通だが、時には帯をはずした時に初めて絵が現れる、という計算もする。(中略)イラストレーションは平面的なものだが、装幀になるといくらか三次元的になってくるし、本を開いてゆくという時間的な経過も、絵の要素の中に加わるからである。」と著書の中に書かれています。今回はたくさんの作品の中から、和田さんの装丁された本をご紹介します。



装幀：和田誠

まず『井上ひさしコレクション ことばの巻』(井上ひさし著/岩波書店/2005年/914.6||57)をご紹介します。和田さんの作品の中で印象的なものの一つに似顔絵があります。この本では、和田さんのあたたかな目線で描かれた井上ひさしさんの似顔絵と出会うことができます。

和田さんの描き文字も印象的です。

『不思議の国のトットちゃん』(黒柳徹子著/新潮社/2005年/914.6||Ku 78)では、いわさきちひろさんの絵に、和田さんの描かれた文字がしっかりと馴染んでいます。カバー裏には、黒柳さんの親善訪問に長年に渡って同行された写真家の田沼武能さんの写真が使われています。



装丁・装画：和田誠

『猫のつもりが虎』(丸谷才一著/和田誠絵/マガジンハウス/2004年/914.6||Ma 59)では、タイトルと呼応するあたたかみのあるイラストから手仕事の味わいが伝わってきます。帯を外すとよりコミカルな印象です。丸谷才一さんとの仕事も多く、この本では和田さんの挿絵も楽しむことができます。

今回最後にご紹介するのは『星新一ショートショートセレク

ション6 頭の大きなロボット』(星新一作/和田誠絵/理論社/2002年 /913.6||H 92||6)です。和田さんは、星新一さんの作品の装丁も多く手掛けられました。語りすぎずそれでいて引き付けられるイラストが、ショートショートの世界感のアクセントになっています。「挿絵画家もイラストレーターもたくさんいるんですが、星さんはいろんな人に絵を付けさせるのを好まなかった。つまり、ショートショートってオチが大切でしょう。それをうっかりした画家はオチを絵に描いちゃう。絵はどうしても先に目に入りますから、読まないうちにオチがわかっちゃう。(中略)そこんところは心得てますから、オチを描くなんてことは絶対にしません。それで星さんも安心して頼んでくれる。」と和田さんは語られています。



装幀・装画・さし絵：和田誠

「ぼくは装幀家であるより前に「本大好き人間」である。「読書人」というほどではないにしても「書物ファン」ではあるだろう。書物で大切なのはもとより内容であるが、書物ファンは内容を伝える手助けとなる文字組や紙質、内容を包み、保護し、飾る、造本・装幀などすべてを含む、本の総体が好きだ。」

和田誠さんの手掛けられた装丁から、書物という形で作品の魅力をより引き出すための作品との向き合い方、そしてそれぞれの作品の著者とのすてきな関係性が伝わってきました。これからも、和田誠さんの作品を楽しませていただきたいと思います。

参考・引用文献：『和田誠イラストレーション集 装幀パレード』(和田誠著/岩崎美術社/1982年) 『和田誠 装幀の本』(和田誠著/リプロポート/1993年) 『装丁物語』(和田誠著/白水社/1997年)



装画・挿絵：いわさきちひろ
カバー写真：田沼武能
装幀：和田誠



ちよこちよこ日記 #20 「おまけ」

『こんな本読んでみて』は今回でNo.80を迎えました！

先日、2005年に発行のNo.1からNo.79まで展示してみました。全てを並べるのは初めての機会だったので、10年以上の歴史を一望できて、感動してしまいました。憧れの司書さんや職員さん、勉強の忙しい中活動してくれた図書館ボランティア部のみなさん。それぞれが紹介された本には、様々な思いが込められていて、懐かしい本をまた読み返してみたいなと思いました。そして、そのバトンをしっかり引き継いでいかなくてはと改めて決意したところでもあります。



No.80を記念して、表紙におまけを付けてみました。No.70からNo.79までの表紙のデザインをモチーフにしたしおりです。全部で10種類あります。よかったら日々の読書にお使いください。

『こんな本読んでみて』No.80を読んでいただきありがとうございました。それでは、またNo.81でお会いしましょう。

こんな本読んでみて No.80

2019年12月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>